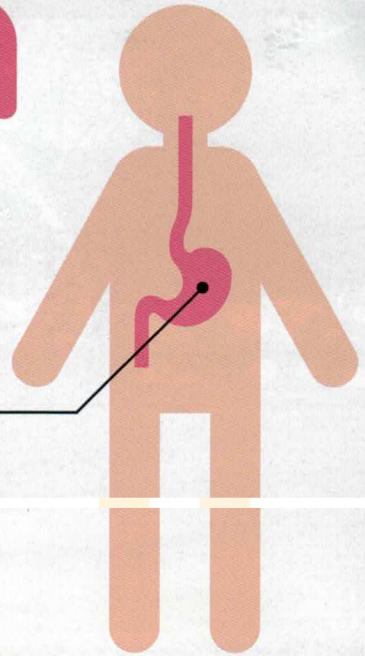


臓器のはなし



今月は 胃②

胃がんは、早期発見を胃薬に頼らない

自律神経も加齢で衰え胃の動きが悪くなる

「胃が強い人・弱い人」という言い方をよくされますが、それは胃の動きの良し悪しの表現です。食後に胃がしっかりと動き、たくさん食べても消化吸収できるのが「強い人」、それができず、胃もたれしたり下痢などをするのが「弱い人」です。

特に、糖尿病やパーキンソン病など、疾患や加齢によって自律神経に障害が出ると、胃の動きが悪くなるケースがあります。通常、ご飯を食べて1〜2時間すれば、胃で消化したものは小腸へ送り出されます。ところが、右記のような方々が胃の検診を行う際、前日の夕食を最後まで何も食べていないのに、健康診断で胃の中にご飯が残っていたりするのは、

これは、衰えた自律神経が胃を活性化に動かしていない証拠。また消化液が分泌されずに消化機能が低下すれば、お腹をこわすでしょう。手術で胃を摘出した人が顕著なのですが、消化能力が落ちれば栄養素を吸収できず、急激に痩せてしまいます。なお、胃がんも初期の段階で痛みがあるのはまれです。「重苦しい」「だるい」といった、漠然とした自覚症状の場合もあります。

市販の胃薬を飲むなら医者が確認したもの

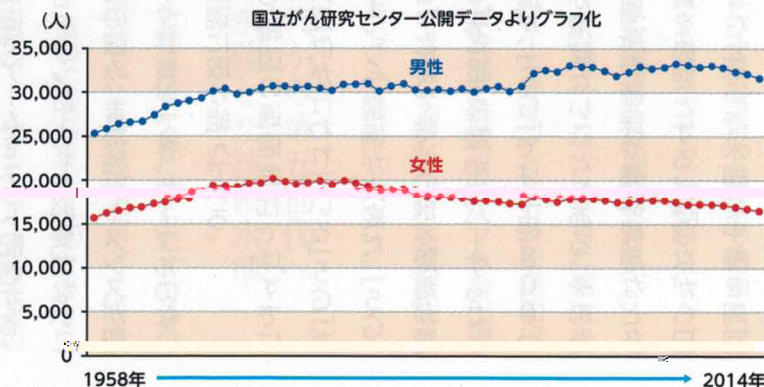
昼間は忙しいからと、夜の緊急外来で胃薬だけをお願いに来る50代の女性の患者さんがいました。「昼間に

ちゃんと検査を受けないとダメですよ」と何度も忠告したのですが、そのまま3、4か月が過ぎた時、真っ黒な便が出ると言われて調べたら、胃がんでした。かなり進行していたので、私は非常に残念な思いをしました。薬を飲む段階の軽い症状の皆さんは、検査がつかないというイメージもあり、なかなか胃カメラ検査を受けたくれません。鼻腔から入れる胃カメラもありまして、すぐに胃の組織を採取して調べることもできます。医学も進歩し、初期のがんなら治る確率は高いのですから、忙しくてもできるだけ検査を受けてください。

胃潰瘍・胃炎用薬で、胃痛などの不快感を抑える「H₂ブロッカー」が市販され、手軽に購入できます。軽めの胃潰瘍なら、治ってしまうかもしれませんが、重度の胃潰瘍になれば効かず、出血して救急車で担ぎ込まれることもよくあります。

強い薬は副作用も心配です。よく胃薬を服用するという方は、粘膜を保護するタイプなど、効果は低いけど副作用の少ないものを選んでほしいと思います。医師に確認した上で、服用してください。

国立がん研究センター公開データよりグラフ化



胃がんによる死亡者数
(1958年・2014年)

監修

浅海 直

あさうみ すなお
(医療法人社団 平成医会 産科医)



1993年千葉大学医学部卒。2007年12月まで松戸市立福祉医療センター東松戸病院(内科副部長)、2008年1月より板橋区役所前診療所に勤務。専門分野は糖尿病、脂質異常症、甲状腺疾患等の代謝・内分泌疾患および老年医学。